

NMI

格子型マグネット

取扱説明書

日本マグネティックス株式会社

目 次

1. はじめに	……P2
2. 注意事項	……P2～P3
3. 仕 様	……P4
4. 部品構成	……P4
5. 取付け	……P5
6. 保守・管理	……P5
7. 修理・改造	……P5
8. 磁力の減磁率	……P5
9. 保証	……P6
10. 連絡先	……P6

1. はじめに

この度は、弊社の格子型マグネットを御購入いただき誠にありがとうございます。
安全に正しくご使用していただくためにもご使用の前に本説明書をご覧の上
正しくお使い下さい。

2. 注意事項

警告

1) 磁気注意

- ・磁気カード、医療機器、電子機器、精密機器等を近付けないでください。
データの消失や誤動作の原因になる恐れがあります

2) 挟まれ注意

- ・強力な磁石を使用しています。
指詰め、挟まれケガをする恐れありますので、棒磁石の取扱には
注意をしてください。

3) 吹き出し注意

- ・処理粉体が流れているときは、蓋をしめる金具は緩めないでください。
蓋が飛び身体に当たりケガをする恐れがあります。
液が目や口に入る恐れがあります。
もし入った場合は、専門医師の処置に従い治療してください。

注意

1) 振動、衝撃

棒磁石の中に入っている永久磁石は、大変もろいものです。振動や
衝撃を与えると欠け、破損にて減磁の原因になります。

2) 分解

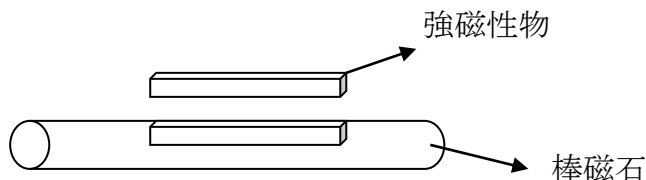
棒磁石の内部は、特殊な磁気回路を組んでいます。
一度分解すると元の磁力の強さには戻りませんので分解しないで下さい。

3) 使用雰囲気

中性域でできるだけご使用してください。

XB、UUB、UB、SB タイプは酸性域で耐蝕性が低いので外筒パイプの
腐蝕、摩耗によるピンホールや亀裂により内部に侵入すると
磁石の損傷減磁が起こります。

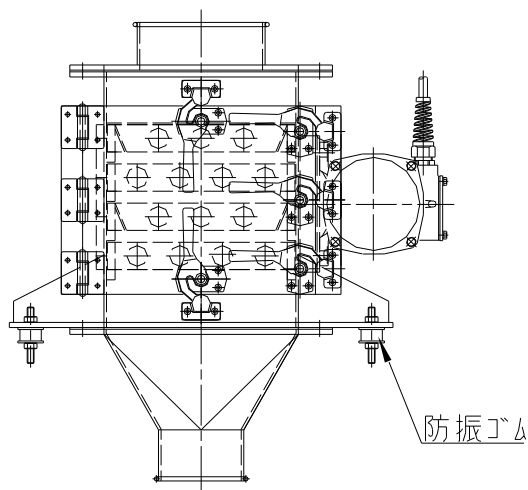
- 4) 強磁性体を繰り返し付着させないで下さい。
棒磁石の表面に鉄板等の強磁性物を繰り返し付着⇔引離しを行うと減磁することがあります。



- 5) 交流磁界の影響
交流磁界中に棒磁石を入れると減磁します。
着磁器、脱磁器の中には入れないでください。

- 6) 温度、圧力の影響
使用温度範囲以上で使用すると、元の磁力に戻りません。
必ず仕様の範囲で使用してください。

- 7) 付着防止用のバイブレータやハンマリング装置が取付けてある場合。
・取付けは必ず防振ゴムやスプリングなどの振動吸収部品を用いてください。
ケーシングや棒磁石の破損の原因になります。



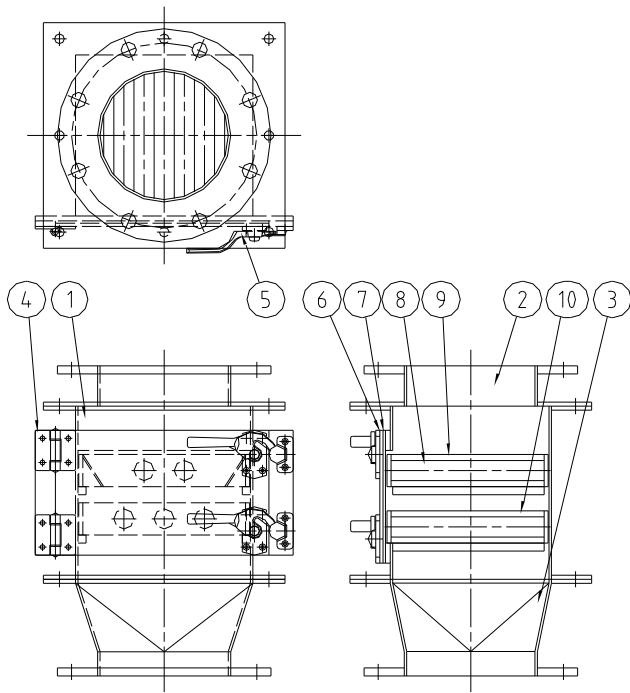
- ・上下の取合い部はフレキシブルな帆布で行いケーシングや棒磁石に振動が直接伝わらないようにしてください。
ケーシングや棒磁石の破損の原因になります。
- ・棒磁石セット枠は必ず押しボルトでロックしてください。
摩耗粉が混入して原料の品質低下になります。
棒磁石の破損の原因になります。

3. 仕 様

型式	磁束密度(TESLA)	最高使用温度	備 考
XB タイプ	1.5T	80℃	
UUB タイプ	1.4T	100℃	
UB タイプ	1.2T	100℃	
SB タイプ	1.0T	80℃	
HB タイプ	1.0T	200℃	
FB タイプ	0.3T	150℃	

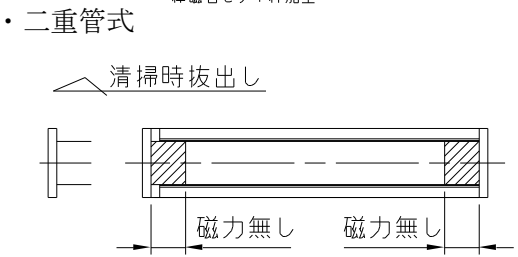
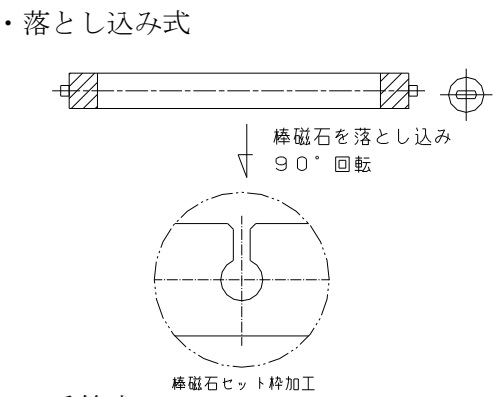
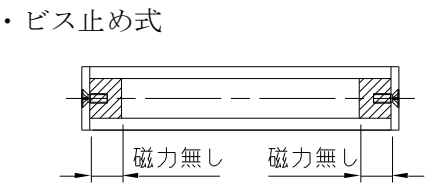
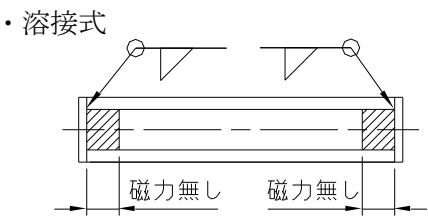
4. 部品構成（詳細は納入図を参照下さい）

< 参考形状 >



10	棒磁石セット枠B	1	SUS304	5t
9	棒磁石セット枠A	1	SUS304	5t
8	棒磁石	5	SUS304	
7	パッキン	1	CR	3t、白色
6	点検扉	1	SUS304	4t
5	密閉金具	2	SUS304	FA-1114-4
4	蝶番	2	SUS304	B-1001-6
3	下部アダプタ	1	SUS304	
2	上部アダプタ	1	SUS304	
1	ケーシング	1	SUS304	3t
品番	名称	数量	材質	備考

< 棒磁石両端加工例 >



NMI

5. 取付け

取付けは接続口径、寸法にあったサイズに接続してください。

無理に接続すると粉漏れの原因になりますのでご注意ください。

接続する機器の振動が伝わらないようにしてください。破損の原因になります。

6. 保守・管理

- (1) 磁着物が吸着されたままで放っておくと磁選効率はどんどん低下していきますのでご注意ください。

磁着物はできるだけこまめにウェスなどで棒磁石から拭き取ってください。

高頻度の清掃がより高い磁選効率になります。

- (2) 棒磁石パイプ、二重管パイプに著しい摩耗傷が発生していないか

定期的に点検してください。

又、テフロンコーティングなどの表面処理を施した場合も表面の摩耗、剥離を定期的に点検してください。

7. 修理・改造

弊社の合意なく改造や分解をした場合は、その結果について一切の責任を負いかねます。

分解は非常に危険な行為であり、適正に設計、製作された磁気回路に損傷を与えますので絶対に行わないでください。

8. 磁力の減磁率について

型式	磁束密度(TESLA)	減磁率(%/年)	温度係数(%/°C)
XB タイプ	1.5T	-0.44~-0.55% (20°C) ※1 約-9% (80°Cを 30 分以上使用)	-0.11%
UUB タイプ	1.4T		
UB タイプ	1.2T		
SB タイプ	1.0T		
HB タイプ	1.0T	0% (20°C) -1% (150°C)	-0.03%
FB タイプ	0.3T	殆ど無し	-0.18%

※1：80°Cを最大30分以内で常温に戻すと減磁率は0%で収まります。

初年度が約-9%ですが次年度より約-1%となります。

9. 保証

保証期間は納入後、一年間とし、この期間内に正常使用しているにもかかわらず不具合や損傷が生じた場合は無償で修理、交換致します。

但し、その場合の二次的保証は免責されるものとします。

摩耗性の高い原料や腐食性の原料を処理、磁選目的以外での使用方法による不具合や損傷が生じた場合はこの限りではありません。

10. 連絡先

日本マグネティックス株式会社			
所在	本社工場	東京営業所	大阪営業所
住 所	〒818-0114 福岡県太宰府市北谷ソイラ 716-2	〒114-0013 東京都北区東田端 1-7-3 田端フタバビル 3F	〒532-0011 大阪市淀川区西中島 7-1-29 新大阪 SONE ビル 12F
電話番号	0 9 2 (9 2 2) 7 1 6 1	0 3 (3 8 9 5) 6 2 7 1	0 6 (6 3 0 4) 6 6 6 8
F A X 番号	0 9 2 (9 2 2) 7 1 6 2	0 3 (3 8 9 5) 8 4 5 6	0 6 (6 3 0 4) 6 4 8 5